

8月28日(火)、職員研修を実施しました。



今回の研修のテーマは、「子どもの気持ちに立った、より適切な指導について考える」、「誰からも認められる指導について考える」です。

前半は、中学部より生徒対応についての事案の報告があり、その対応の経過についての協議を踏まえ、今後取り組むべき改善点を検討しました。

後半は、グループに分かれ「ロールプレイ」によるワークショップをしました。



この「ロールプレイ」は、日常見られる指導の場面を想定したものであり、その場面でそれぞれの役（生徒役2人、教員役2人、保護者役）がシナリオを演じ、教師とは違う立場で「どのように感じたか」を出し合いました。さらにそこから、「より適切な指導を行うにはどうすればよいか」を協議しました。



これらの内容を踏まえ、まとめとして、「より適切な指導を行うために必要なこと」、「保護者、地域に信頼される学校作り」についての意見交換を行いました。

また、中谷校長より、「組織として取り組むこと」、「子ども・保護者の気持ちに寄り添う指導」の大切さについての話がありました。



研修は、2時間の予定でしたが、3時間を超える研修となりました。ロールプレイにも熱心に取り組み、「生徒・保護者の気持ち」に立って真剣に考えました。